



さいじょう

市議会だより

平成30年(2018)2月1日発行

第57号

発行/西条市議会 編集/市議会だより編集委員会 〒793-8601 愛媛県西条市明屋敷164 ☎(0897) 52-1261

平成30年

新春

新年市民祝賀会
名誉市民章贈呈式



大亀孝裕氏の功績をたたえる名誉市民章贈呈式(平成30年1月4日)関連記事12ページ

12月定例会

平成28年度各会計決算認定案を認定

平成29年度補正予算(総額3億3,494万6千円)を可決

名誉市民の選定に関する議案に同意

北朝鮮による弾道ミサイルの発射に抗議する決議を可決

◇目次◇

議案質疑・一般質問……………2～9 P	常任委員会審査レポート……………10 P
特集記事	審議結果・議案等の賛否一覧ほか…11 P
議会活性化推進特別委員会……9 P	名誉市民・議員提出議案・ 議員研修会ほか……………12 P

12月定例会の会期日程

12月5日	本会議(提案説明)
6日～10日	休会
11日	本会議(質疑・一般質問)
12日	本会議(一般質問)
13日	本会議(一般質問)
14日	産業建設委員会・総務委員会
15日	環境消防委員会・福祉文教委員会
16日・17日	休会
18日	臨海地域振興整備特別委員会 議会活性化推進特別委員会
19日～21日	休会
22日	議会運営委員会 本会議(質疑・討論・表決)

市議会を知るよい機会です。あなたも本会議や委員会を傍聴してみませんか!

議会の日程等、詳細については、議会事務局へお尋ねください。

(URL) <http://www.city.saijo.ehime.jp/site/gikai/bouchou.html>

平成29年第6回12月定例会

平成29年第6回12月定例会は、12月5日に開会し、会期18日間をもって12月22日に閉会しました。

この間、市長提出の議案29件及び報告1件を審議し、定例会最終日の12月22日には、議案などの採決を行いました。

12月定例会では、12月11日から12月13日までの3日間、議員21名が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に項目を整理し、2ページから9ページにかけて掲載しています。

自民クラブ

堀江 幸二 議員



- (一般質問)
- 1 歴史文化の保全・活用について
 - 2 市の花、鳥、木の制定について
 - 3 公共下水道事業について
 - 4 小松地区の市街地における雨水対策について

歴史文化の保全に向けた 新たな資料館の整備を！

問

本市は、西条藩や小松藩の藩主であった一柳家をはじめ多くの偉人を輩出している。歴史文化の保存や郷土の偉人の顕彰、更には観光資源としての活用などに資するため、貴重な歴史的資料

を保存・展示する新たな資料館の整備が必要と思うが、どのように考えているのか。

答

後世に伝えるべき貴重な歴史文化遺産を保存・展示する施設は必要であると認識しているが、既存施設では収蔵スペースが限られているため、施設の一部改修や有効活用を検討し、貴重な資料を保管・展示できる施設となるよう検討していきたい。

伊藤 新平 議員



- (一般質問)
- 1 学校法人松山大学での市長講義について
 - 2 道路整備について

セーボーデン市との 都市間交流の展開は？

問

市長が講師を務めた松山大学の「自治体リレー講義」において、オーストリア共和国セーボーデン市との友好都市提携について言及しているが、今後、どのように展開していくつもりなのか。

答

オーストリア共和国セーボーデン市を訪問した際、約80名の関係者を前に西条市をPRさせていただき、さまざまな機会を作っていただき、同市との交流を深めるきっかけができた。また、両市の関係を更に深めるため、クリナー市長からは来西したい旨の発言もあった。都市間交流は、すぐにできるわけではないので、時間をかけてお互いに意見交換しながら、深いつながりにしていきたい。



セーボーデン市での交流の様子

西坂

壽 議員



- (一般質問)
- 1 市営住宅の管理運営について
 - 2 スポーツ振興施策について
 - 3 監査制度の充実強化について

市営住宅入居者の 不公平感の解消を！

問

市営住宅の入居者に収入超過者や高額所得者がいると聞いており、不公平感が生まれているが、どのように対応しているのか。

また、高齢者世帯が3DKの間取りに住んでいる一方で、大人数の家族が2DKの間取りに住んでいるなど、住宅規模と住居状態にミスマッチが起こっている状況にあるが、どのように解消を図っているのか。

答

収入超過者には明け渡しを喚起する通知書を送り、引き続き入居する場合は割り増し家賃を徴収している。高額所得者には所得に係る通知書の送付と個別面談を行い、状況に変化がなければ明け渡しを求めている。なお、住宅規模と住居状態のミスマッチについては、関係法令に基づいて適切に対応したい。

坪井 剛 議員



(一般質問)

- 1 行方不明者の搜索活動について
- 2 市長就任後一年間を振り返っての思いと今後に向けての抱負について

公約実現に向けた

今後の市政運営は？

問

市長就任後1年間を振り返り将来的な懸念事

項をどのように認識し、人材育成を含め、今後の市政運営をどのように考えているのか。

答

今日の地方自治体は、人口減少や少子高齢化などの社会的課題が急速に進展するとともに、普通交付税の縮減などから、今後も厳しい財政状況が続くものと認識している。将来世代にわたって持続可能な自治体経営を維持していくためには、基金残高の確保と交付税の水準維持は極めて重要であると考えている。

また、地方自治に求められているのは、従来の価値観から脱却し、本市が有する魅力や特性を生かしながら新たな価値の創造に向け、自立した主体性のある自治体経営だと感じている。

今後、人口減少社会や厳しい財政状況が予測される中、組織を強固なものとするために、将来につながる人材の育成が最も重要であると考えており、組織機構の見直しを検討しながら、組織力が最大限に発揮できる体制の整備に努めていきたい。

白坂 均 議員



(一般質問)

- 1 米の生産調整について
- 2 地域公共交通の在り方について

米の生産調整

その実効性やいかに？

問

平成30年度から国による米の生産数量の配分が廃止され、生産調整は地域農業再生協議会が担うことになるが、各産地で主体的に需給調整を行っても米の生産が過剰になるおそれがある。国の関与なくして米の生産調整は順守できないのではないのか。

答

地域農業再生協議会では、これまでと同様、水田フル活用ビジョンを作成することとなっており、水稻に麦、大豆、飼料用米などを組み合わせた、ビジョンに沿

今後の整備計画は？
小・中学校などの空調設備

問

快適な教育環境を整備することで子どもたちの健康維持や更なる学力の向上を期待するが、空調設備の整備をどのように計画しているのか。

答

本市では、教育環境の改善に向けた早期の対応が必要と判断し、先行自治体の事例やPFI方式の導入事例などを検討した上で、PFI方式により小・中学校及び公立幼稚園へ空調設備の整備を行う。なお、その財源としては合併特例債を活用し、特例債の発行期限である平成31年度末までに整備を完了させる計画としている。

井上 浩二 議員



(議案質疑)

- 1 地域自治推進事業について
 - 2 学校空調設備設置支援業務委託事業について
- (一般質問)
- 1 西条市イクボス宣言について
 - 2 市職員の労務管理について

※PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）とは、公共施設などの設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方

今井 廣一 議員



(一般質問)

- 1 養護老人ホームにおける特定施設入居者生活介護の施設指定について
- 2 市が設置している遊具の安全性の確保について

高齢者福祉の充実を！
特定施設入居者生活介護

問

さまざまな介護サービスを受けられる特定施設入居者生活介護をどのように利用し、入居者の生活を安定させようと考えているのか。

答

本市には、特定施設入居者生活介護の指定を受けた事業所が2施設ある。平成30年度から32年度を対象期間とする第7期介護保険事業計画案では、新たな指定を見込んでおり、今後、高齢者福祉の向上につながると期待

している。ただし、指定を受けると介護給付費の上昇につながるため、引き続き、介護保険事業計画策定委員会で検討していきたい。



特定施設入居者生活介護の指定を受けているケアハウス鶴翠苑

黒川 理恵子 議員



(一般質問)

- 1 市職員の雇用の在り方について
- 2 スマートインターチェンジの整備に向けた取組について
- 3 ごみの減量化に向けた取組について

整備に向けた取組を！
スマートインターチェンジ

問

石鎚山系の魅力発信やアウトドア活動の促進などに関する協定の締結により、更に必要性が高まった石鎚山ハイウェイオアシスにおけるスマートインターチェンジの整備について、どのように考えているのか。

答

スマートインターチェンジは、小松地区及び石鎚山ハイウェイオアシスの活性化に寄与するとともに、広域防災拠点である小松中央公園の防災強化の観点から必要であると考えており、整備に向けて検討を進めたい。



スマートインターチェンジの整備が検討される石鎚山ハイウェイオアシス

三好 和彦 議員



(議案質疑)

- 1 石鎚クライミングパークSAIJO改修事業について
- 2 教育行政について

大雨時の対策は

じゅうぶんか？

問

平成29年の台風18号が接近した際には、床上床下浸水の被害が多数発生し、更には、道路の浸水により市指定避難所への避難ができない状況が見られたが、大雨時における排水対策や市民の避難について、どのように考えているのか。

答

大雨時における排水対策については、排水ポ



ポンプ増設工事を実施している唐樋ポンプ場(朔日市)

ンプによる強制排水が有効と考えており、平成29年の台風18号接近時においては、各施設のポンプは全台フル稼働していた。しかし、計画雨量を超える大雨により浸水が発生したため、今後、消防団や自治会などに聞き取り調査を行い、浸水の実態把握に努めたい。

また、近年の大雨発生頻度の高まりや、宅地化に伴う雨水流出量の増加対策として、現在2台の排水ポンプ増設工事を実施しているが、更に増設するため国に対して積極的に予算を要望していきたい。なお、道路の浸水などにより避難所に避難ができない場合は、2階以上への避難や近隣の堅固な建物へ移動するなどの安全確保行動をとっていただきたいと考えている。

西条自民
クラブ

児玉 千春 議員



(一般質問)
1 道前クリーンセンター
について

今後の整備方針は？

道前クリーンセンター

問

道前クリーンセンターは、供用開始から26年が経過しており、機能低下が懸念されている。以前、平成31年度から平成37年度までの7年間で新施設の整備を行う計画であるとの説明があったが、概要はどのようなものか。

また、同施設の更新は、市民、特に現施設が立地している地域住民にとっては非常に関心が高いと思うが、市民への説明については、どのような

に考えているのか。

答

施設の規模など具体的な内容については、全国の先進事例を参考にしながら検討を行うこととなるが、将来、減少が見込まれる人口規模や、ごみ減量化施策などの目標達成度、災害廃棄物の処理などについても考慮し、本市として適正な規模の施設を整備する必要がある。

市民への説明については、平成30年度から予定している施設更新に係る基本構想の検討において、検討の経過を市民にお知らせするとともに、現施設がある地域住民に対しても丁寧な説明を行っていきたい。



更新整備予定の道前クリーンセンター

行元 博 議員



(一般質問)
1 市長の市政運営に対する考え方について
2 人口減少問題について
3 財政状況について
4 基金の在り方について

人口減少問題

現状と取組は？

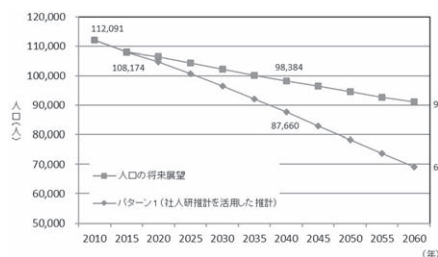
問

丹原東中学校区の小・中学校では、平成19年度からの10年間で児童・生徒の数が220名も減少するなど、人口減少問題は無視できない重要課題となっている。

そうした中、他市においては、コンパクトシティの推進を図るなど、攻めと守りの政策に取り組んでいるが、本市では、人口減少の現状をどのようにに捉え、今後、どのような政策に取り組んでいるのか。

答

本市では、西条市人口ビジョンを策定し、人口動向分析と将来展望を行ったところ、2060年の人口は6万9千147人と推計され、人口減少問題は市政の最重要課題と認識している。現在、人口減少の速度を緩やかにし、地域経済の発展や活力ある地域社会を形成するため、西条市立地適正化計画により、生活利便性の向上を図るとともに、地域的格差の解消に向けICTを活用したまちづくりの検討を進めている。また、交流人口や移住・定住人口の増加を図るため、シティプロモーション戦略の策定にも取り組んでおり「住みたいまち西条」の実現により、地域間競争の勝ち残りを目指していきたい。



人口の将来展望

(出典:西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版))

川又 由美恵 議員



(一般質問)
1 同報系防災行政無線について
2 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会について

成果を未来へつなごう！
えひめ国体・えひめ大会

問

えひめ国体・えひめ大会の運営について、どのような総括を行っているのか。

また、多くのかたにボランティアスタッフとして従事していただいたが、大会終了後もボランティアの輪を広げていくための取組として、どのような考えがあるのか。

更に、大会の開催に合わせ実施したシティプロモーションには、どのような成果があったのか。

答

大会を通し、スポーツに対する市民の関心がいっそう高められたとともに、関係団体と連携した円滑な大会運営ができたと考えている。

また、延べ866名が従事した大会運営ボランティアについて、大会終了後も各種市民活動を継続していただけるよう、市民サポーター研修会などを開催し、市民サポーターの育成に取り組んできた結果、60名のかたに登録していただいたところである。

更に、各競技会場における食の情報発信や、市民と連携した本市文化のPRなど、西条市らしいおもてなしができたことで、今後、観光などによる交流人口の拡大を期待している。



清掃を行う大会運営ボランティア

高橋 保議員



(議案質疑)

- 1 学校空調設備設置支援業務委託事業について(一般質問)
- 1 四国新幹線の早期実現に向けた取組について

小・中学校教室へのエアコンの導入時期は?

問

教室のエアコン設置については、以前からPTAや保護者、児童・生徒などから早期設置を望む声が多数寄せられ、本議会においても、導入に向けての意見や要望が出されていた。更に平成29年11月には小・中学校の校長・教頭・PTA連合会長らで組織する西条市立小・中学校業務改善推進委員会からも各教室にエアコンを設置してほしいという要望がなされたが、これをどう受け止め、具

答

教室のエアコン設置に関しては、これからの学校教育にふさわしい環境整備として以前から要望が多く挙がっていたもので、教育環境の改善を図る上で早期の対応が必要と判断し、着手するものである。具体的には、平成29年度内に事業者の公募に向けた準備を行う。平成30年度は4月以降に事業公表、現地見学会、事業者の募集、提案審査を経て、7月頃までに事業者決定を行い、設計後、11月から順次施工を開始し、平成31年度末までに設置を完了する予定である。



夏季の授業風景

西条市民クラブ

佐伯利彦議員



(議案質疑)

- 1 地域自治推進事業について
- 1 農業労働者の確保について(一般質問)
- 1 農業労働者の確保について

就農を希望する移住者の積極的な確保を!

問

農業労働力の確保は、市内の人材に加え、UターンやIターンなど、他地域からの移住による新規就農者の確保が重要であり、人口減少に悩む自治体として、農業をするために移住するかたが増えることは、非常に喜ばしいことである。人口減少に歯止めをかけ、

かつ地域の農業を守っていくためにも、全国に向けて就農希望移住者の募集を始めるべきである。就農希望者から「農業をするなら西条へ」との合言葉が出てくるよう、本市で農業することの魅力やメリットをアピールしてほしいと思うが、移住を伴う新規就農人材を発掘するために、どのような取組を行っているのか。

また、都心部の若いかたが農業をするために移住してくることを期待しているが、実際に本市へ来て農作業を体験する農作業体験ツアーなどを開催することについて、どのように考えているのか。



新・農業人フェアの様子

答

移住を伴う新規就農人材の発掘は、東京や大阪などで開催されるイベントに参画することで、直接的に掘り起こしを図っている。

農業の就農形態が多様化する中、本市に移住して就農したいと考えるかたの足がかりとなるよう、農作業体験ツアーなどを通して本市の農業や地域の魅力を肌で感じていただくことは、移住の大きな後押しになると考えている。

今後は、既に実施している農村での移住者向け空き家見学ツアーなどと連携し、仕事と住まいの情報を一体的に提供するなど、効果的な事業展開に取り組んでいきたい。

佐々木

充議員



(一般質問)

- 1 高校への進学について
- 2 若者の市政や地域づくりへの参画について

市内の高等学校が

選ばれる取組を！

問

近年、市外の高等学校を選択する生徒が急増している。都市部への若者の流出に歯止めをかけ、生まれ育ったふるさとで進学・就職する地学地就という考え方もあるが、市内の高等学校における定員割れが顕著である現状をどのように認識しているのか。

また、6月定例会において、市内の5つの高等学校と連携し、選ばれる学校づくりを目指すとの答弁があったが、その後、どのような連携を図ってきたのか。更に、市内の高等学校への進学率を向上させる取組について、どのような考えがあるのか。

答

平成29年度に市外の高等学校などへ進学した生徒は約34パーセント、また、平成29年11月の進路希望調査において、市外県立高等学校への進学を希望する生徒は21パーセントであった。こうした現状に、市としても危機感を抱いており、市内の中学校

や高等学校といっそうの連携・協力が必要と考えている。教職員間においては、これ

までも、各種連絡会、相互の授業公開、合同での見守り活動など、中学校と高等学校が連携した取組を実施してきた。平成30年度からは、更なる連携の強化に向け、市内中学校・高等学校校長連絡会を定期的に行うこととしており、市内高等学校への進学率の向上に向けた取組についても、話し合っていく。

また、生徒間においても、部活動や体験活動、各種イベントなどで交流が行われており、こうした活動を積極的に周知し、参加を促すことで、市内の高等学校をアピールしていきたい。



高校説明会の様子(丹原西中学校)

公明党

西条市議員団

越智 絹 恵 議員



(一般質問)

- 1 ヘリコバクター・ピロリ感染検査事業について
- 2 産後ケアについて
- 3 新婚世帯への生活支援について

検査対象拡大を！

ヘリコバクター・ピロリ

感染検査

問

中学2年生を対象とした検査の実施説明会を保護者を対象に開催したが、参加状況はどうであったのか。また、今後、検査対象者を拡大する考えはあるのか。

答

説明会の参加者数は、対象者1千23名のうち

51名と少なかったため、今後は案内方法を工夫するなど、参加促進に努めたい。

検査対象者については、①ピロリ菌の保菌率や胃がんの罹患率が50歳代から急増している、②国の指針において胃がん検診の対象年齢は50歳以上が望ましい、③胃がん予防のためには少しでも早い時期が効果的である、④除菌治療に適する体格となるのが中学2年生程度であるなどの理由により、平成29年度から50歳と中学2年生を対象に取り組んでおり、引き続き、この検査対象者で実施を続けていきたい。

城戸

力議員



(議案質疑)

- 1 小学校及び中学校就学援助事業について
- (一般質問)
- 1 ICT教育について

遠隔合同授業 事業効果と今後の展開は？

問

本市は、文部科学省からの委託により、小規模校の教育の維持向上を図るべく遠隔合同授業に取り組んでいるが、事業効果や実証事業後の展開について、どのように考えているのか。

答

本市では、平成27年度から市内4校において遠隔合同授業を実施しており、児童はコミュニケーション力、プレゼンテーション力、プロジェクト力などの21世紀型スキルを効果的に育成できているとともに、中1ギャップ対策としても効果が表れている。更に、地域住民からの期待も高く、他県からの移住を呼び込んでいるほか、県内外から視察を受け入れるなど、本市の取組は西条モデルとして高く評価されている。

事業終了後も、実証校では引き続き実施していきたいと考えており、市内全校への展開については、国の動向に注視しながら、検討を進めていきたい。

日本共産党 西条市議員

青野 貴 司 議員



- (一般質問)
- 1 大企業奉仕の四国新幹線について
 - 2 国民健康保険税の引き下げを求めることについて

国民健康保険税の 引き下げを！

問

国民健康保険制度は、平成30年度から都道府県単位で運営されるが、国は国民健康保険税の激変を生じさせない配慮を市に求めている。国の方針からも国保税は引き上げるべきではないと思うが市の見解はどうか。

また、今回の都道府県化に合わせて、国保税を引き下げ

る考えはないか。

答

平成30年度から、愛媛県が国民健康保険財政運営の責任主体となり、市は県が定めた国保事業費納付金を納めるために、国保税率を決定することとなる。

平成30年度の国保税率については、被保険者の負担が急激に増加することがないよう配慮したいと考えている。

また、今後は国において国保事業への補助金の拡充も予定されており、国保税率については、状況を見極め適正に判断したい。

山地 美知一 議員



- (一般質問)
- 1 水産資源について
 - 2 水問題について

水産資源の 復活に向けた取組を！

復活に向けた取組を！

問

アサリの成育やノリ養殖は環境の変化に大きな影響を受け、本市でも減少傾向にある。栄養塩などの過不足もその要因の一つと考えられており、水産資源の育成は困難な課題であると思うが、水産資源復活に向け、どのような取組を行っているのか。

答

水産資源の減少については、さまざまな要因が複雑に作用していると考え、本市の環境を鑑みると干潟の減少のほか、海水中の窒素やリンなど、栄養塩類の減少などが大きな要因として考えられている。

現在、地元漁業者においては、水産資源の育成に効果のある藻場づくりを行うなど、漁場環境の改善による水産資源の復興に取り組んでいる。また、地元漁協により設置されている二つの協議会においては、種苗放流事業を実施しており、市の補助支援の下、ヒラメやアコウなどの鮮魚類に加え、クルマエビやガザミといった甲殻類のほか、アサリなどの貝類の稚貝を放流し、資源の再興に努めている。

会派に 属さない議員

御庄 秀 樹 議員



- (一般質問)
- 1 重症心身障害児(者)に対する支援について

重症心身障害児(者)への 支援体制の充実を！

問

本市では、障害児(者)への各種サービスに比べ、重症心身障害児(者)に対する支援サービスがあまりなく、実態の把握がふじゅうぶんではないかと思うが、現状をどのように認識しているのか。また、重症心身障害児(者)とその家族が利用できる支援施設の現状や支援体制について現状と課題をどのように認識し、今後どのように解決していくのか。

答

重症心身障害児(者)に対する支援サービスの充実を求める声は多く、市内には支援施設がないことから市外にある施設を利用せざるを得ない現状であり、市外施設を利用する際の身体的、経済的な負担が大きいことが課題であると認識している。

今後もし引き続き医療機関や関係団体に対して施設整備に向けての働きかけを行い、支援の充実を検討していきたい。

真鍋 顕 伸 議員



(一般質問)

- 1 内水氾濫について
- 2 降水情報の発信について

冠水被害の軽減を図る排水設備の整備を！

問

渦井川水系の界谷川は、台風接近の際や大雨警



冠水する地藏原地区(平成29年10月)

報発令時に越水し、幾度となく冠水被害が発生している。高速道路の雨水排水経路が関係していると思うが、どのような対策を検討しているのか。

答

界谷川の改修については、愛媛県において地元説明会などを開催し、平成29年3月に渦井川水系河川整備計画を策定している。整備計画では、稼働部分は浸水被害の軽減を図るため築堤方式とし、河口部においては排水ポンプを設置することとなっている。平成29年度に基本設計を行い、平成30年度に実施設計を行うが、完成までは長い年月を要することから、台風接近時には仮設ポンプにて対応している。今後、愛媛県に対し、早期完成に向け要望していきたい。

特集記事

議会活性化推進特別委員会

議会活性化推進特別委員会では、現行の議会運営の検証に加え、先進市議会の取組事例の研究や委員間討議の内容などを踏まえ、議会の活性化に関する検討事項を洗い出しながら、継続して議論を重ねているところであります。

今回の特集記事では、委員会で審議され、答申された事項について、その要旨を掲載しております。

審議の状況

本委員会は、平成29年9月定例会において「中間報告」を行って以降、平成29年12月までの間、計3回にわたり委員会を開催し、審議を行ってきました。

その中で、次の事項について、一定の結論を得ましたことから、議長に答申書を提出しました。

第5次答申事項

(12月18日付け)

- (1) 議会報告会の開催について

本事項は、議長から議会運営委員会に諮問し、協議の結果、同答申に付された平成30

年度西条市議会報告会実施要領と合わせ了承されました。実施要領には、実施時期のほか、実施回数や報告内容などが規定されており、その主な内容は次のとおりです。

【実施時期】

平成30年4月若しくは5月

【実施回数】

年1回・2か所同時開催

【実施時間】

週末の夜間・2時間程度

【報告内容】

議会のしくみや当初予算について

以上のほか、議会報告会の開催に当たり、準備から結果報告までの全てを行う議会報告会実行委員会(議員10名)を設け、実施することなどが規定されています。

西条市議会基本条例

(議会報告会)

第12条 議会は、市政の諸課題に柔軟に対処するため、市政全般について、議員及び市民が自由に情報及び意見を交換する議会報告会を行うものとする。

委員会視察研修を実施！

平成29年11月7日から11月9日までの3日間、新潟県新潟市議会及び福島県会津若松市議会を訪問し、議会改革への取組や議会報告会の開催状況について視察研修を実施しました。研修により得た知識や情報を今後の委員会での調査・研究に生かし、本市の現状に見合った手法を検討し更に議論を深めていきたいと考えています。



先進市での視察の様子(新潟市議会)

常任委員会審査レポート

福祉文教委員会

本委員会では、付託議案2件について、12月15日に書面審査を行いました。

審査の過程では、①障害福祉サービスシステム改修委託料を計上するに至った理由、②学校空調設備設置支援業務の事業内容と空調設備設置後の運用方法、③石鎚クライミングパークS A I J Oに常設しているリード壁、ボルダリング壁に加えて、スピード壁を設置することについて、建設場所をどのように検討したのか、④スピード壁のルートは定期的に見直すのか、⑤スピード壁の設置に伴い、西条西部体育館につながる既存の通路が塞がれるおそれはないのか、⑥平成30年度当初予算にスピード壁の工事請負費を計上できるのかなど、予算案に係る質疑が行われました。

これらの審査の後、採決を行い、議案2件を原案のとおり可決すべきものと決しました。

総務委員会

本委員会では、付託議案4件、請願1件の計5件について、12月14日に書面審査を行いました。

審査の過程では、①社会保障・税番号制度システムの改修内容、②地域自治組織の活動拠点を公民館とすることに問題はないのか、③限度額を設定している市民活動支援センター委託料において、今後、センターが担う業務が増加した際の対応策について、④従前の庁舎総合案内業務と電話交換業務を統合し、新たに総合案内電話交換業務とすることによるメリットについて、⑤市民活動支援センターの職員数及び主な活動実績など、予算案に係る質疑と討論が行われました。

これらの審査の後、採決を行い、議案4件を原案のとおり可決すべきものとし、請願1件は不採択とすべきものと決しました。

産業建設委員会

本委員会では、付託議案2件について、12月14日に現地調査の後、書面審査を行いました。

審査の過程では、①農業経営の法人化等支援事業の内容、②林道災害復旧に係る工事費の負担割合について、③石鎚ふれあいの里の使用料などの値上げにより収入の増加が見込まれるが、指定管理委託料は抑制されるのかなど、予算案や条例案に係る質疑が行われました。

これらの審査の後、採決を行い、議案2件を原案のとおり可決すべきものと決しました。



石鎚ふれあいの里の現地調査

環境消防委員会

本委員会では、付託議案6件、請願1件の計7件について、12月15日に現地調査の後、書面審査を行いました。

審査の過程では、①西消防署河北出張所整備予定地の選定理由、②水道料金の改定が簡易水道及び水道事業の経営に与える影響など、予算案や条例案などに係る質疑が行われました。

これらの審査の後、採決を行い、議案6件を原案のとおり可決すべきものとし、請願1件は継続審査とすべきものと決しました。



西消防署河北出張所整備予定地の現地調査

12月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議案第103号	平成28年度西条市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	議案第128号	西条市石鎚ふれあいの里設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第104号	平成28年度西条市水道事業会計決算の認定について		議案第129号	名誉市民の選定について	同意
議案第105号	平成28年度西条市病院事業会計決算の認定について		議案第130号	平成29年度西条市一般会計補正予算(第11回)について	原案可決
議案第114号	平成29年度西条市一般会計補正予算(第9回)の専決処分について	承認	議案第131号	平成29年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)について	
議案第115号	平成29年度西条市一般会計補正予算(第10回)について		議案第132号	平成29年度西条市介護保険特別会計補正予算(第2回)について	
議案第116号	平成29年度西条市公共下水道事業特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	議案第133号	平成29年度西条市簡易水道事業特別会計補正予算(第3回)について	
議案第117号	平成29年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算(第2回)について		議案第134号	平成29年度西条市公共下水道事業特別会計補正予算(第3回)について	
議案第118号	西条市公共下水道根幹施設の建設工事委託に関する協定その1の一部を変更する協定の締結について		議案第135号	平成29年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算(第3回)について	
議案第119号	西条市公共下水道根幹施設の建設工事委託に関する協定その3の一部を変更する協定の締結について		議案第136号	平成29年度西条市小松地域交流事業特別会計補正予算(第2回)について	
議案第120号	西条市公共下水道根幹施設の建設工事委託に関する協定その4の一部を変更する協定の締結について		議案第137号	平成29年度西条市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1回)について	
議案第121号	新たに生じた土地の確認について		議案第138号	西条市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	
議案第122号	字の区域の変更について		議案第139号	西条市職員退職手当条例等の一部を改正する条例について	
議案第123号	西条市市民活動支援センターの指定管理者の指定について	原案可決	報告第16号	交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	報告聴取
議案第124号	愛媛県市町総合事務組合規約の変更について		委員会提出議案第9号	西条市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第125号	愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体からの脱退に伴う財産処分について		議員提出議案第2号	北朝鮮による弾道ミサイルの発射に抗議する決議について	
議案第126号	西条市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例について		請願第2号	「所得税法第56条の廃止(見直し)」の意見書採択を求める請願	不採択
議案第127号	西条市簡易水道条例及び西条市水道事業給水条例の一部を改正する条例について				

議員別議案等賛否一覧表

上表は議案などの審議結果ですが、下表には賛否が分かれた議案などの賛否状況を掲載しています。(現議員数30名)

議員名 議案等 (賛成：反対)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		眞鍋 顕伸	佐々木 充	佐伯 彦	城戸 力	高橋 保彦	藤井 武彦	三好 和彦	黒川 理恵子	今井 廣一	井上 浩二	御荘 秀樹	山地 美知一	岡村 重治	越智 絹恵	川又 由美恵	行元 博	臼坂 均	坪井 剛	西坂 壽	越智 俊幸	高橋 章哲	青野 貴司	武田 功	児玉 千春	一色 輝雄	楠 學	伊藤 新平	堀江 幸二	藤田 節雄	伊藤 孝司
議案第 103 号	27：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第 105 号	27：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第 114 号	25：4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第 115 号	27：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第 128 号	28：1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第 139 号	25：4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
請願第 2 号	3：26	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	

※ ○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対
※ 伊藤孝司議員は、議長職のため表決に加わっていません。

本市議会では、平成28年度各会計決算認定案3件の審査に当たり、平成29年9月定例会で本特別委員会を設置し、9月25日に関係箇所現地調査を行い、引き続き26日、27日の2日間、書面審査を行いました。審査の過程では、予算審議の留意点について、決算ではどう執行されているかという視点から審査するとともに、次年度以降の適切な行財政運営に対して慎重審議がなされました。

審査の概要は、平成29年12月定例会初日の本会議において、委員長報告を行い、採決の結果、議案3件はいずれも原案のとおり認定されました。

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は「決算」が議会に提出される9月定例会において、その認定審査のために設置される委員会です。

請願

12月定例会では、2件の請願が各委員会で審査され、本会議における採決の結果、不採択1件、継続審査1件となりました。

議員提出議案

12月定例会最終日(12月22日)に、議員提出議案として下記の決議案が提出され、審議の結果、全会一致により原案可決されました。

北朝鮮による弾道ミサイルの発射に抗議する決議

北朝鮮は、国際社会の度重なる抗議と警告にもかかわらず、弾道ミサイル等の発射を繰り返しており、去る11月29日にもICBM級とみられるミサイルを発射した。

このことは国連安全保障理事会決議や日朝平壤宣言に違反するとともに、六者会合共同声明の趣旨にも反するもので、国際社会の一致した平和的解決への強い意志を踏みにじる暴挙であり、断じて容認することはできない。

西条市議会は、これまでも「核兵器廃絶・平和都市宣言」を決議し、さらに「北朝鮮の核実験に抗議し、核兵器及び核計画の放棄を求める決議」を行うことにより、北朝鮮の行為に対し厳しく批判してきたにもかかわらず、北朝鮮に政策を改める意思は感じられず、逆に核ミサイルの脅威を背景として国際社会への発言力を強めようと技術開発を継続しており、国民の生命・財産に対し、現実として、重大かつ切実な危機が迫っているものと考えざるを得ない。

よって、本市議会は、北朝鮮の弾道ミサイル発射に対して重ねて厳重に抗議し、強く非難するとともに、核実験及び弾道ミサイルによる更なる挑発行為を行わないよう強く要求する。

また、国においては、関係各国と緊密に連携し、国連安全保障理事会決議に基づく制裁措置を完全履行してその実効性を確保するほか、問題の解決に向けて適切な措置を講じ、我が国の平和と国民の安全・安心の確保に万全を期すよう要請するものである。

以上、決議する。

12月定例会初日(12月5日)の本会議において、市長から、新市施行後、第2号となる名誉市民の議案が追加提案され、大亀孝裕氏を名誉市民に選定することに同意しました。



大 亀 孝 裕 氏

名誉市民の選定に同意

同氏は、現在、DCMダイキ株式会社取締役会長に就任され、ご活躍される一方で、浄財の寄附を通して、本市のみならず国内のスポーツ文化の発展に大きく寄与され、平成29年9月には公益財団法人日本体育協会特別表彰を受賞されるなど、その功績は、卓絶したものであり、議会におきましても、偉大なる足跡を末永く顕彰するものです。

議員研修会を開催しました

西条市議会では、議員の資質向上と政策立案能力の向上を図るため、全議員を対象とした議員研修会を開催しています。

期日：平成29年10月26日(木)

演題：タブレット議会について

講師：東かがわ市議会

副議長 鏡 原 慎一郎 氏

東京インタープレイ株式会社

代表取締役社長 米 田 英 輝 氏



10月臨時会

10月24日開催の10月臨時会において、台風18号により被害を受けた市道などの災害復旧事業に要する経費に係る専決処分案件及び衆議院議員総選挙の投票票など選挙事務に要する経費に係る専決処分案件並びに石鎚山ハイウェイオアシス館をアウトドア活動の拠点施設として整備するため基本設計を行う経費に係る補正予算議案の計3件の審議を行いました。

審議の結果は、次のとおりです。

◇議案第111号 平成29年度西条市一般会計補正予算(第6回)の専決処分について

承認

◇議案第112号 平成29年度西条市一般会計補正予算(第7回)の専決処分について

承認

◇議案第113号 平成29年度西条市一般会計補正予算(第8回)について

原案可決

編集後記

新たに平成30年を迎え早くも1か月がたちましたが、本年が市民の皆様と西条市にとりまして、明るくすばらしい年となりますことを念願しております。

本号では、平成29年12月定例会の審議内容を中心に編集しました。

大寒を迎え、寒さ厳しき折、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

市議会だより編集委員会

委員長 坪井 西 御 白 越 伊 楠 堀 藤

委員 井 坂 莊 坂 智 智 新 幸 節 雄
委員 均 樹 壽 剛 恵 幸 平 學 二



西条市議会
マスコットキャラクター
みずぎ議員